

# BUSINESS REPORT

第**100**期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



ぺこり〜にゃ

だんどり〜にゃ

いつも となりに



おいしいキョクヨー



株主の皆様へ

 TOP MESSAGE

## 企業理念

人間尊重を経営の基本に、健康で心豊かな生活と食文化に貢献し社会とともに成長することを目指します。



代表取締役社長 井上 誠

## ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第100期(2023年3月期)報告書をお届けいたします。

この一年、コロナ禍からの回復が本格化した一方で、世界的な物価高や急激な円安進行など、事業環境が大きく変動する中、キョクヨーグループでは中期経営計画「Build Up Platform 2024」の2年目として、水産商事業の収益安定化や資源アクセスの強化を図り、食品事業、海外事業の拡大やブランドの強化に取り組んでまいりました。

4月からは中期経営計画の最終年度として、引き続き「経営基盤の強化を図りながら、『事業課題への継続的取組み』と『持続的成長への挑戦』を柱とする戦略を進め、社会と極洋それぞれが共有すべき価値を創造していくことで、新たな成長への礎となる『高収益構造への転換』を目指す。」ことを基本方針に、ESG経営の実践や、SDGsへの貢献といった持続可能な社会の実現に向けた責任を果たしながら、事業推進のスピードを加速させてまいります。

昨年9月に、当社はおかげさまで創立85周年を迎えることができました。株主の皆様におかれましては、引き続き多大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

# 「Build Up Platform 2024」(2021年度～2023年度)

## 基本方針

経営基盤の強化を図りながら、「事業課題への継続的取組み」と「持続的成長への挑戦」を柱とする戦略を進め、**社会と極洋それぞれが共有すべき価値を創造**していくことで、**新たな成長への礎となる「高収益構造への転換」**を目指す。

イメージ図



## 中期経営計画の戦略と主な取組み

戦略

1

### 食品事業の拡大

食品部門を業態別の組織に再編成することで役割分担を明確化し、販売体制の強化を図りました。また、収益性向上を目的に、自社工場商品の拡販を進めています。22年に完工した、海外基幹工場であるタイ王国の**KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co., Ltd.**では、煮魚、焼魚や寿司種などの生食を合わせて年間約7,000トン供給できる体制が整い、日本のみならず、東南アジアや欧米などへの販売を拡大させています。



戦略

3

### 資源アクセスの強化

水産資源のサステナビリティが重視される一方で、世界的に水産物需要が高まる中、安定供給の維持拡大に取り組んでいます。22年には、主にカツオを漁獲する海外まき網新船「**第十一わかば丸**」が竣工し、独自の調達力を強化しました。養殖に関しては、クロマグロやマダイ、ブリに加えて、三重県に建設中の陸上養殖場で生産されるアトランティックサーモンについて、25年から販売することで合意しました。また、22年には養殖魚飼料への活用も期待される、微細藻類「**ナンノクロロプシス**」培養会社の(株)イービス藻類産業研究所に出資するなど、新たな取組みに着手しています。



第十一わかば丸



(上) 微細藻類培養施設  
(右) ナンノクロロプシス

戦略

2

### 海外事業の拡大

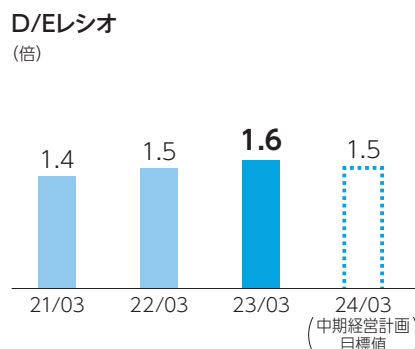
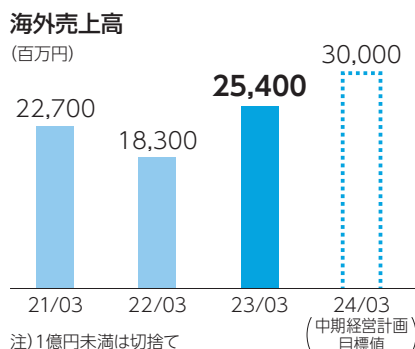
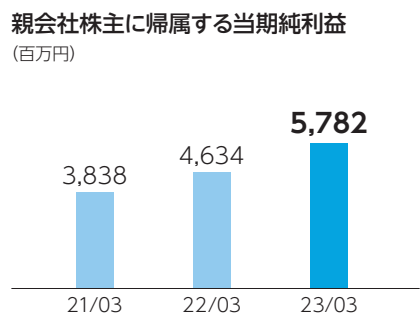
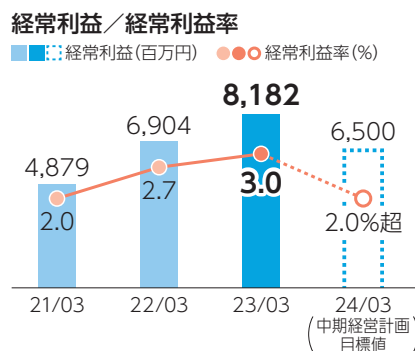
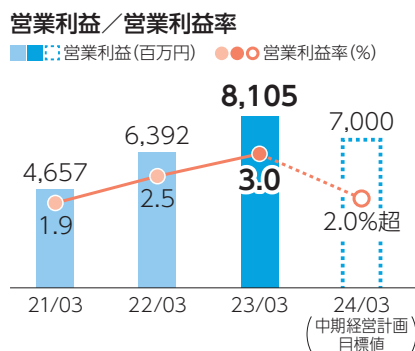
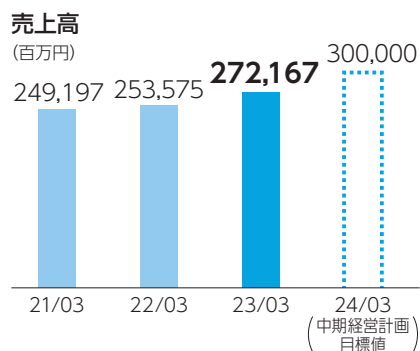
成長性の高い海外市場での販売強化を早急に進めるため、従来の輸出販売中心の体制から、「海外でつくり、海外で売る」方針にシフトさせています。22年には、コロナ禍で課題が顕在化した中国加工のリスク分散と、ベトナムおよび東南アジア向けの生産、販売を目的とした、グループ初のベトナム子会社 **Kyokuyo Vina Foods Co., Ltd.** を設立しました。23年には、米国にカニ風味かまぼこの製造・販売などを目的とした孫会社の設立を決定するなど、グローバルな販売拡大のために生産体制を整えています。

● 主な連結経営指標

ポイント

- 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が**過去最高を更新**。
- マグロの相場上昇の中でも、**外食産業の回復**などにより、**鯉・鮪セグメントが利益を牽引**。

売上高	<b>272,167</b> 百万円	経常利益	<b>8,182</b> 百万円	総資産	<b>146,301</b> 百万円
営業利益	<b>8,105</b> 百万円	親会社株主に帰属する当期純利益	<b>5,782</b> 百万円	純資産	<b>46,966</b> 百万円

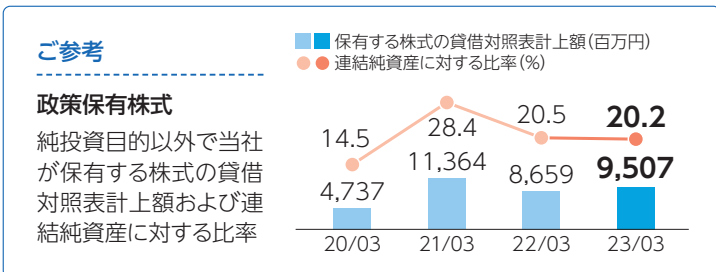
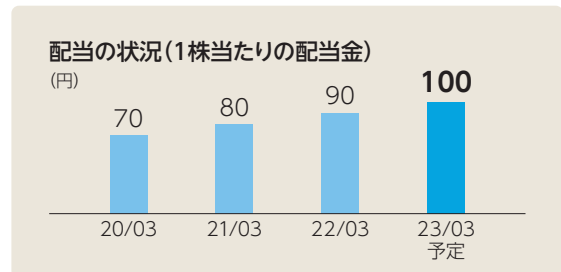
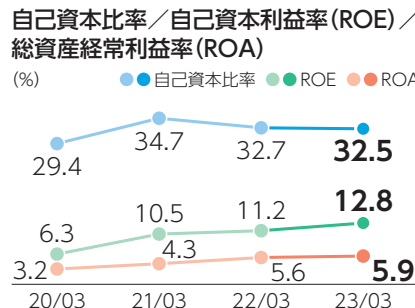
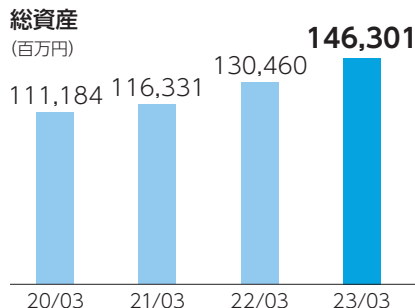
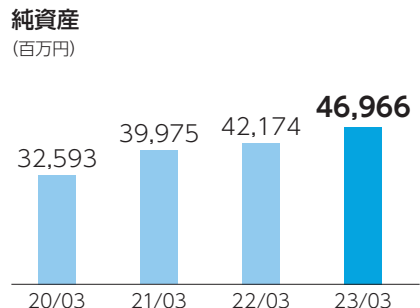


次期の業績予想は、売上高3,000億円、営業利益85億円、経常利益85億円、親会社株主に帰属する当期純利益60億円を見込んでおります。

● 主な連結財務指標

ポイント

- 安定した財務体質の中で、親会社株主に帰属する当期純利益が**過去最高を更新し、ROEが上昇**。



# セグメントの状況

当社は、水産物を中心とした総合食品会社として、4つの事業を展開しています。

## 水産商事セグメント

セグメント別  
売上高構成比


45.2%

**売上高** 122,783 百万円


**営業利益** 2,683 百万円

■ 売上高 ■ 営業利益  
(単位: 百万円)

年度	売上高	営業利益
22/03	120,796	5,150
23/03	122,783	2,683




定塩サケフィレ




エビ加工品

国内外の支社、営業所、駐在員事務所、関係会社の相互連携により、世界中から質の高い水産物を安定的に調達するとともに、切身やカニ、エビの剥き身などの加工品を提供しています。また、海外事業については、日本産水産物の輸出版売のほか、国内外のキョクヨーグループ工場で生産する商品の販売を強化しています。

## 鯉・鮪セグメント



本鮪の極 つなぐ <TUNAGU>



マグロタタキ

**売上高** 39,220 百万円

**営業利益** 5,325 百万円

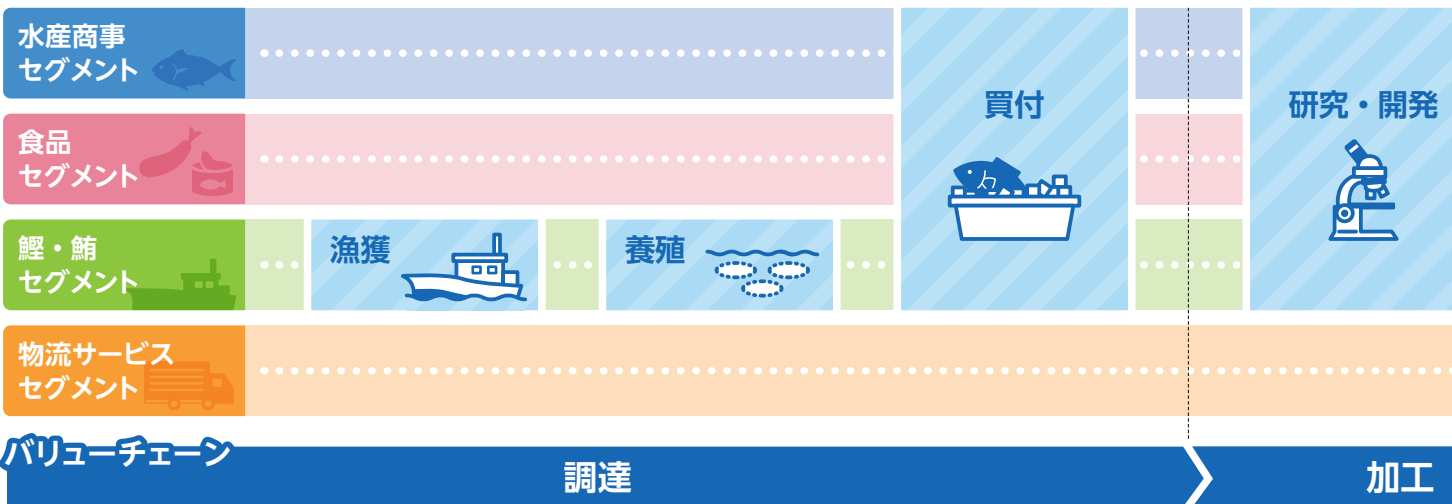
セグメント別  
売上高構成比

14.4%

■ 売上高 ■ 営業利益  
(単位: 百万円)

年度	売上高	営業利益
22/03	34,295	988
23/03	39,220	5,325

# ビジネスフロー





## 食品セグメント

セグメント別  
売上高構成比

39.9%

売上高 108,328 百万円  
営業利益 936 百万円

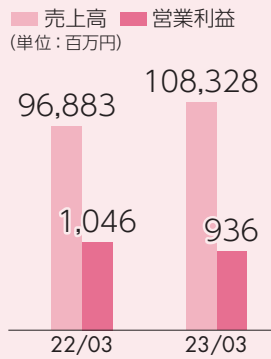


寿司種



(上)だんどり上手  
さば切身(骨なし)  
(右)銀鮭の中骨煮付

業務用冷凍食品では、寿司種、煮魚・焼き魚、水産フライやカニ風味かまぼこ、骨なし切身をはじめとする「だんどり上手」シリーズなどを、外食ルートや量販店の惣菜売場、医療・介護施設などに販売しています。市販用では、煮魚・焼き魚やフライ製品などの冷凍食品のほか、1949年の製造開始から長い歴史を持つ缶詰については、イワシ、カツオなどの魚介缶詰をはじめ、畜肉・農産缶詰を取り揃えています。その中で、こだわりと工夫を備えた市販ブランド「シーマルシェ」の商品拡充を図っています。また、さきいかなどの珍味類のほか、グルコサミンやDHAなどの健康食品も販売しています。



## 物流サービスセグメント

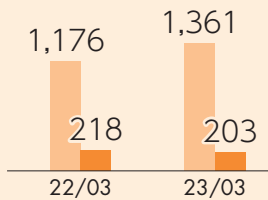
セグメント別  
売上高構成比

0.5%



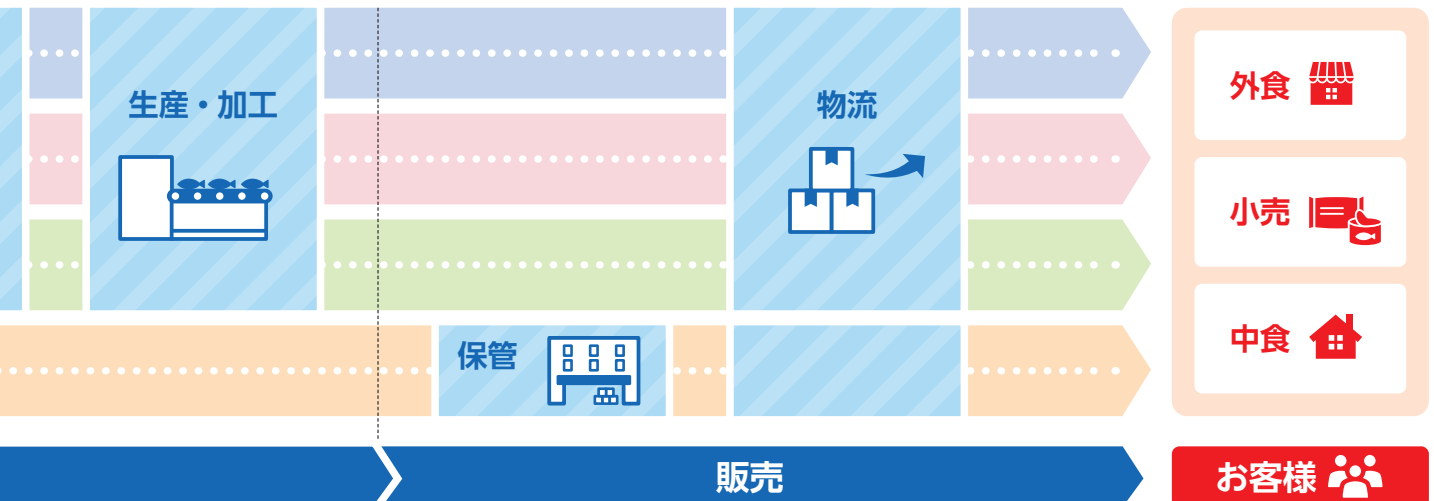
キョクヨー秋津冷蔵(株)  
東京事業所

売上高 1,361 百万円  
営業利益 203 百万円



売上高 1,361 百万円  
営業利益 203 百万円

東京の大井および城南島、福岡の3事業所における冷蔵倉庫事業を中心に、倉庫からの配送手配などのロジスティクス・サービスを提供しています。



キョクヨーグループは、「キョクヨーグループサステナビリティ基本方針」のもと、事業活動を通じて社会的価値と経済的価値を創出することで社会的課題を解決し、社会の持続可能な発展に貢献するとともにキョクヨーグループの持続的な成長を目指しています。

## サステナビリティ基本方針

- 1 価値の創出と共有
- 2 社会とのコミュニケーション
- 3 多様な人材が活躍できる環境
- 4 環境との調和
- 5 コーポレートガバナンスの充実

## 具体的な取組み

## 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同

2022年にTCFD提言への賛同を表明し、情報開示に向けた取組みを進めています。

## SeaBOSへの参画

持続可能な水産資源の活用と健全な海洋および地球環境の実現に向け、世界の大手水産企業9社と科学者で構成されたグローバルイニシアチブ「SeaBOS\*」に2017年から参画しています。毎年開催されるキーストーンダイアログには、代表取締役社長の井上誠が出席し、IUU(違法・無報告・無規制)や海洋プラスチック問題など様々な課題への対応について討議しています。活動を通じて国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」のうち、特に目標14「海洋と海洋資源の保全と持続的利用」に貢献することを目指しています。

\*SeaBOS (Seafood Business for Ocean Stewardship)



2022年10月、第7回キーストーン・ダイアログがアムステルダムで開催  
当社代表取締役社長の井上が出席  
(前から2列目、右から4番目)

## クリーンリバー活動

「自然との共生」、「水資源の大切さ」を社会に訴えていく環境保全活動の一環として、公益社団法人 日本カヌー連盟のオフィシャルパートナーとして同連盟の活動に協賛し、(株)極洋が冠スポンサーを務める「カヌースラロームジャパンカップ・キョクヨーシリーズ」の各大会後には、大会関係者および競技場へ来場された方の中から希望者にもご参加いただき、競技コース付近の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施しています。2017年度から累計で2,025名もの方にご参加いただいています。



## インフォメーション

## 株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、当社株式を保有していただける株主の増加を図ることを目的として株主優待制度を実施しています。

## 株主優待の内容

- 対象株主** 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有の株主様
- 優待の内容**
- 1単元(100株)以上3単元(300株)未満所有の株主様には、2,500円相当の当社製品を贈呈
  - 3単元(300株)以上所有の株主様には、6,000円相当の当社製品を贈呈
- 贈呈時期** 毎年7月予定

## WEBサイトのご案内

キョクヨーの事業概要やESGに関する情報、商品や商品を使ったレシピのほか、IR関連など最新の情報を掲載しております。スマートフォンでもご覧いただけますので、右下のQRコードをご活用ください。



<https://www.kyokuyo.co.jp>

キョクヨー

検索

